



答 「依存と分配」から「自立と創造」へと転換し地域のごとは地域が決めるのが前提となる。従来に増す健全財政の堅持と財源の有効活用が必要で、事業の廃止や見直しの中で選択と集中により、将来を見据えた施策の展開を図る。

◆自動車解体業進出計画のその後は

問 自動車解体業進出計画のその後はどうか。土砂災害危険地域の設定経過は。

答 9月に「説明会終了報告書」が県から公表され、今後、事業者が事業計画説明会を開催し地域との合意形成を目指すことになる。県の危険地域の調査時、たまたまあの箇所で工事が行われており、見逃された可能性がある。再調査が行われる見通しで、市へ意見聴取があれば、状況を県に伝える。

◆市発展策の中心市街地集中
問 発展策の中心市街地集中では、バランスある合併市の発展は望めない。

答 インフラ整備には地域バランスに配慮し進めてきた。財源確保が厳しくなる中、タイミングを見計らった集中投資が時には必要。再開発の効果は全域に波及すると考える。

市政同志会

質問者 中野 長勲
太田 茂実・中原 巳年男

持ち時間125分

教育再生のゆくえ



問 塩尻市のシンボルは何か。
答 図書館が核のえんぼくも新しいシンボルに加わる。

問 市長選挙中に配られたチラシについてどう思うか。
答 選挙は公平公正であるべき。事実を反した内容のものであつてはならない。

問 財政分析の項目について。
答 財政力指数0.672で県下19市中6位。経常収支比率は90.2で11位。起債制限比率は9.2で7位。市民1人当りの地方債残は40.7万円。11位。市民千人当り職員数は8.27人で8位になる。

問 今年度予算の執行状況は。
答 現在まで78.6%となっている。

問 ゆとり教育で学力・体力の低下が指摘されているが。
答 02年から5日制となつて

いるが因果関係でさまざまな議論がされている。
問 学力テストの塩尻市の状況は。
答 市内全校がやっていないため市教育センターが文科省の資料等を参考に分析した。本市が推進している「早稲早おき朝ごはん・どくしょ」が定着し良好だ。

問 教室の高温対策について。
答 熱中症対策として、生徒児童の健康管理を重点的に実施した。PTAや保護者のご協力で感謝している。

問 武道授業が必修になるが整備は。
答 平成24年度から始まるにつき、必要な防具等は市で購入を検討している。

問 市防災ガイドブックの更新は考えているか。
答 本年度マルチハザードマップとして配布する予定。

問 市南部の消防体制はこれでよいか。
答 消防力整備は中長期構想を平成23年以降に策定し、2署の機械や職員体制を広域連合に要望していく。

問 ワクチン接種の現状は。
答 昨年の新型インフルエンザの対応をもとに予防策を市民に啓発し、混合されたワク

チン接種で済むようになった。
問 子宮頸がんワクチン接種を全額公費でできないか。
答 近隣市町村医師会と調整し本年度中にも実施したい。

問 小規模農家の支援策は。
答 中小規模農家の特徴を出す様な農業経営体の育成支援をしていく。

問 森林税の活用はどうか。
答 小曾部27.7ha、上田20ha、床尾5.6ha、片丘の計83haの間伐を行い活用した。

問 農業公社の本年度の事業実績は。
答 開設されて1カ月であり、農作業支援535時間、大豆収穫等3.8haがあつた。

問 雇用促進住宅の入居状況は。
答 平成23年4月より塩尻市の管理となり、80戸に対し72戸入居。滞納者数件と裁判中



子どもたちにより学習環境を